

地方行政サービス改革の取組状況等(令和3年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
112275	埼玉県	朝霞市	都市 III-1

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.6%
本庁舎の夜間警備			100.0%	98.5%
案内・受付			93.8%	89.9%
電話交換			100.0%	92.8%
公用車運転			94.4%	88.6%
し尿収集			100.0%	98.2%
一般ごみ収集			100.0%	97.5%
学校給食(調理)			90.5%	72.5%
学校給食(運搬)			95.0%	91.2%
学校用務員事務			28.6%	38.0%
水道メーター検針			100.0%	99.0%
道路維持補修・清掃等			100.0%	97.1%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.1%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.7%
ホームページ作成・運営			95.2%	97.8%
調査・集計			94.4%	96.3%

※令和3年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置		窓口業務の民間委託	
設置状況	設置済	委託状況	委託予定無し
BPRの手法を用いた業務分析		【参考】	
取組状況		類似団体	全国(市区町村分)
		総合窓口設置率	委託率
		28.6%	52.4%
		総合窓口設置率	委託率
		14.2%	27.4%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務			
実施予定無し	委託予定無し	首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計

【参考】

類似団体	
実施率	委託率
61.9%	0.0%
全国(市区町村分)	
実施率	委託率
33.5%	3.3%

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

部内担当部局においてそれぞれ円滑に行っており、民間等への委託の必要がないため。

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況		業務改革効果	
------	--	--------	--

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐して配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	2	2	100.0%		0		60.3%	40.1%
競技場(野球場、テニスコート等)	12	12	100.0%		0		61.1%	48.4%
プール	2	1	50.0%	施設が昭和62年で、施設が老朽化している。また、開催期間が6月自前と短いこと、施設利用の対象者が小学生以下と限定されていること、利用料金も安価で設定されていることから費用対効果の問題があるため。	0		72.9%	52.0%
海水浴場	0	0			0		0.0%	13.7%
宿泊休業施設(ホテル、国民宿舎等)	0	0			0		92.3%	85.0%
休業施設(公共浴場、海・山の家等)	0	0			0		85.7%	75.6%
キャンプ場等	0	0			0		70.7%	59.2%
産業情報提供施設	1	1	100.0%		0		80.4%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		76.5%	65.8%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	40.2%
大規模公園	0	0			0		46.9%	44.2%
公営住宅	1	0	0.0%	市営住宅の管理戸数が50戸と少数であり、指定管理者制度を使うことでコスト増が懸念されるため導入を進めていないため。	0		26.2%	16.2%
駐車場	3	0	0.0%	人的負担の少なからず指定管理から直営に戻しており、現在も状況は変わっていないため。	0		29.7%	37.1%
大規模公園、斎場等	1	1	100.0%		0		21.9%	22.8%
図書館	2	0	0.0%	継続性や安定的な運営が重要。小中学校等との連携や市民参加・協働の促進、他自治体・機関との連携強化など、直営で対応すべき事項が多い。民間事業者を活用するには施設の老朽化などの問題からメリットが薄い。	2		14.1%	20.2%
博物館(美術館、博物館、歴史館、動物園)	1	0	0.0%	指定文化財を含む博物館の収蔵資料は、市民等から寄贈・寄託されたものが多く、市の貴重な財産として市の責務な保存・管理を行う必要がある。また、学校と連携した博物館による授業なども、市が直接担当することが適切と考えられるため。	1		34.6%	28.1%
公民館、市民会館	7	1	14.3%	地域住民の活動拠点としての役割や生涯学習の学びのきっかけづくり、市民団体や学校等との連携・協働など、適切な公民館活動の展開には、正規職員が様々な部署で協働してきた経験など社会教育活動の理解を要するため。	6		32.4%	22.8%
文化会館	0	0			0		64.3%	51.5%
会館、研究所等(県が事業を委託)	0	0			0		56.7%	50.1%
特別養護老人ホーム	1	1	100.0%		0		75.0%	74.7%
介護支援センター	0	0			0		62.5%	49.0%
福祉・保健センター	4	4	100.0%		0		46.5%	53.0%
児童クラブ、学童館等	16	16	100.0%		0		40.6%	24.5%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	タイプ	
		自治体クラウド	
		単独クラウド	○

【参考】

実施率(類似団体)	
自治体クラウド	単独クラウド
76.2%	23.8%
全国	
自治体クラウド	単独クラウド
41.4%	58.6%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定		策定予定時期	
-----	---	------	--	--------	--

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.9%

(7)地方公会計の整備

作成済	○	作成予定		作成完了予定年度	
-----	---	------	--	----------	--

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
作成割合	作成割合
81.0%	85.8%

(注1) 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2) 「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体